

とよなか まちづくり 手帖

令和5年(2023年)
7月発行

第20号

泉北ラボ
堺市南区
(泉北ニュータウン)



INDEX

- それゆけ!まちづくり探検隊!!
～堺市南区・泉北ニュータウン 泉北ラボ～ 1・2・3P
- まちづくり掲示板 4P
- 新しいまちづくり活動のご紹介(豊中市新千里北町) 5P
- まちづくり人リレー 6P
- 第35回まちづくりセミナー
「泉北ラボのヒミツ」～つなぐ、つながる～ 7P

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(回覧)

※新型コロナウイルス感染対策に配慮し、取材を行っております。



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030

それゆけ!

まちづくり探検隊!!

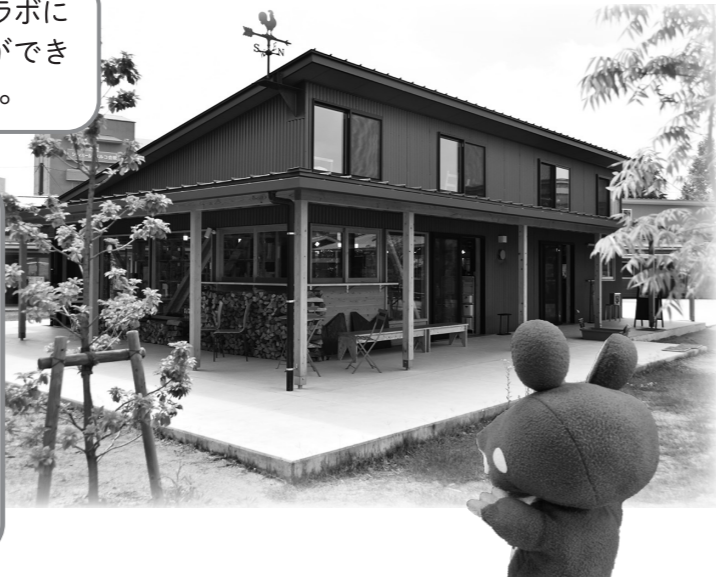
このコーナーでは、マチカネくんがまちづくり活動をしているさまざまなまちを探検するよ!



今回のまちづくり探検隊は、第18号に引き続き、泉北ニュータウンに来ているよ。泉北ラボという秘密基地のような場所に来ているワニ! 運営代表の宝楽先生に泉北ラボのヒミツを教えてくださいな。



マチカネくん、こんにちは。泉北ラボに来てくれて嬉しいよ。この施設ができた背景からお話をさせてもらうね。



泉北ニュータウンは千里ニュータウン開発開始から少し後の昭和40年から堺市南区の丘陵地帯を切り開いてできた人口約14万人の住宅地なんだ。自然豊かな谷あいの旧集落と近代的なまちの地域と、それぞれの良さがある独自の生活文化があるんだ。でも、そのニュータウンもまち開きから半世紀を迎え高齢化の波が押し寄せているんだ。どうしたらまちを持続的に発展させていくことができるかが課題になっているんだ。



泉北ラボは大阪健康福祉短期大学のキャンパス内にあるんだよ。ここは元々小学校があった場所なんだ。保育士、幼稚園教諭を養成する福祉学科、介護福祉士を養成する介護福祉学科を設置している大学なんだけど、教育・交流・防災機能などに対応する地域の拠点をめざしているんだ。泉北ラボはその連携パートナーとして私たちの財団が運営しているんだ。

「自由」をコンセプトに、スペースごとに、あるいはお店全体をレンタルスペースとして活用できる広場的な空間なんだ。お茶を飲みながら、何かやりたいことがあればどうぞ自由に使ってください。



いろんな人が集まりそうな、オシャレで開放的な場所なんだね。

マチカネくん、そうなんだよ。みんなの居場所でもあり、ワクワクするような「みんなのやりたいができる広場のような空間」みたいな場所にしていきたいんだ。



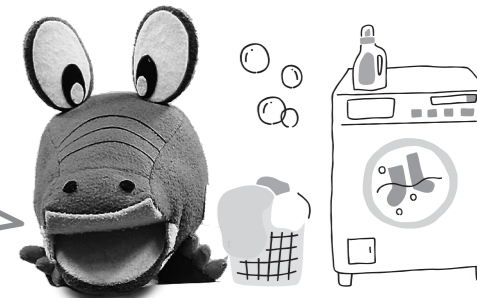
本もたくさんあるね。



泉北ラボの本棚は寄付の本で埋まっているんだよ。誰かに読んでもらいたいという本の寄付を待っているよ。



あそこに並んでるのはコインランドリー? どうして、ここにあるの?



泉北ラボは、カフェ、レンタルスペース、コワーキングスペースなど様々な使い方ができるんだよ。コインランドリーは意外とこの辺りにはなくて、運転免許証を返納した高齢者のみなさんも多くて重宝されているんだ。洗濯物ができあがるのを待っている間、カフェでお茶を飲みながら本棚で読書を楽しむなんていう使い方もできちゃうよ。「まちの家事室」なんだ。



いろいろな使い方があるんだね。外側の入口には、コミュニティフリッジって書いてあったけど?



泉北ラボでは、みんなの公共冷蔵庫「コミュニティフリッジ」を実施しているんだ。支援を必要としている子育て世代の人たちが時間や人目を気にせず、都合の良い時に提供される食料品や日用品を取りに行ける仕組みなんだ。お互いさまの気持ちで支えるみんなの公共冷蔵庫なんだ。



大和冷機工業(株)さんのご寄付で冷蔵庫・冷凍庫各1台と棚が設置されたんだよ。

新型コロナウイルスの影響などで困窮している親子や学生を支援しようと企画されたんだ。日本中に広がっている取り組みなんだ。



寄付で成り立つなんて素晴らしいね。



多くの寄付者によって、支えられているんだよ。個人でも企業でも、ご寄付を募っています。





泉北ラボ内にあるシェアキッチン
のYycafe(ワイワイカフェ)の山中
さんにお話を聞いたワニ。



なるほど、このスペースと
“つながり”を持てれば、何か
困ったことがあったら相談
できるもんね。

マチカネくん。こんにちは！ここはcaféだけど、ただのcaféじゃ
ないんだ。立ち寄ってくれた人の様子をうかがいながら、この施設
について紹介したりして、話を少しづつ広げていって、“つながり”
ができるように心がけているんだ。特にコミュニティフリッジは、
利用しやすい環境を作るように配慮しているんだよ。



そうなんだ、この場所と“つながり”
を持つことで他の人とつながって、つな
がることで、課題の解決のきっかけを
見つめられる場所になることを目指し
ているんだよ。



地域で活動している人や、これから始めようと
考えている人に宝楽さんから何かひとこと。

結果をすぐに求めないことが大事だと思うよ。
じっくり、ゆっくり育てることが重要だね。
まちの漢方薬のように、じんわり地域に「効く」
そんな活動は長く続くと思うよ。



「公益財団法人 泉北のまちと暮らしを考える財団」とは

私たちの財団は、住民のチャレンジを下支えし、住民の力で地域の課題解決を実現していくために泉北ニュータウンから地域の新しい資金循環を行う機関として、泉北ニュータウンのまちびらき50周年を機にさまざまな取り組みを経て、主に30代、40代の人たちが中心となって設立したコミュニティ財団です。

まちづくり協議会便り



豊中駅前まちづくり推進協議会

令和5年度総会が6月8日に開催されました。駅前デッキ上での開催を予定していましたが、あいにくの雨で大池コミュニティプラザに会場を変更。令和5年度事業計画では豊中駅前まちづくり推進協議会が大切にしていきたいや今年度の重点的な取り組み、具体的な事業に関する計画が示され、賛成多数で承認されました。総会の後半では、協議会の発足時から関わってこられた、近畿大学総合社会学部の久隆浩教授の記念講演が開催され、過去の先進的な豊中駅前の取り組みを振り返ると共に、現在の他地区の先進事例や今後の豊中のまちづくりに対して熱いエールが送られました。



【ホームページ】



おかまち・まちづくり協議会

令和5年度総会が6月29日にあーとらんどYOU2で開催されました。

また、本年4月には若手商店主を中心とした「おかまちさくらづか倶楽部」が装いも新たに、「岡町 桜塚 ゆめ未来創造チーム(OSCARオスカー)」として更なる進化を遂げ、益々活発な活動が期待されます。



【ホームページ】

永楽荘桜自治会に「第39回大阪府まちづくり功労者感謝状」が贈呈されました。

大阪府は、魅力あるまちづくりに取り組み、功績のあった団体に対し感謝の意を表すため「大阪府まちづくり功労者感謝状」を贈呈しており、この度、令和5年3月に永楽荘桜自治会への贈呈が決定しました。

戸建住宅が建ち並ぶ当地区は、これまで地区計画や都市景観形成推進地区(景観計画)により、良好な住環境を守ってこられました。今回、令和4年度からリニューアルしたまちづくり支援制度を活用し、地域独自のルールである「景観形成ガイドライン」をより広く周知するため、地区まちづくり活動団体として登録。勉強会を開催し、地域で合意形成を進め、地区まちづくりルールとして登録されました。これによって市のホームページ等で直接「景観形成ガイドライン」の内容をご確認頂けるようになっています。



前回のセミナー報告

第35回まちづくりセミナー(オンライン)を開催しました!

「まちづくりにつながる市民活動」公園の外へ
～ゆっくりとしか育たない価値～

(講師)大阪公立大学大学院 准教授 武田重昭さん



当日の参加者は76名でした。たくさんの受講感想もありがとうございました。

【受講感想より】

- ◆実際に当事者になってみたいと思うような事例紹介で、とてもワクワクしました。
- ◆大蓮公園での市民が主体となって取り組んだ公園の役割は多元的であり、まちづくりを自由な発想で取り組むべきと改めて思いました。
- ◆非常に分かりやすい説明で、また内容も興味あるもので、とてもよかったです。

次回セミナーのお知らせは最終頁に!



マチカネポイント
対象だよ!

「とよなか百景を詠む」かるたの詠み句大募集!!

豊中市では、小学生以下の子どもたちに楽しんで学びながら市の魅力を再発見してもらうため、「とよなか百景かるた」を制作します。

同かるたの制作にあたり、とよなか百景の各スポットの写真を絵札とした、詠み句を50句募集しています。

募集期間は令和5年(2023年)9月29日(金)まで。

応募方法など詳しくは市ホームページまたは以下までお問い合わせください。

【問い合わせ先】都市計画課 景観形成係 TEL06-6858-3143



【ホームページ】



とよなか百景かるたの完成イメージ
※イメージのためデザインは変更する場合があります。

イベントを通して盛り上がっている地域を紹介します。

北町つつじマルシェ



北町に住むママ達を中心にハンドメイド雑貨やワークショップ、駄菓子屋さん、親父の会の焼き鳥や福祉施設のクッキー販売のほか、地域の飲食店やキッチンカーを呼んで美味しい食べ物や飲みものを提供しています。こどもたちのダンスステージは毎回実施しています。また、フラダンスチームや紙芝居屋さんも来たり、盛り上がっています。

北町つつじマルシェとは？

北町のママたちが作る、マルシェで繋ぐ、新しい北町の姿。コロナ禍で北町のイベントはほとんどが中止になってしまいました。街の人が顔を合わせ、人と人が巡り会う。今までのようにあたたかな地域が次につながるよう、マルシェが新しいきっかけになることを願います。

【ママ達が集まって、地域に新しい風を起こしています】

コロナ禍で、地域の行事がすべて中止になり、まちのみんなが顔を合わせる機会が減ったところ、屋内でのイベントは難しいけれど、屋外である公園で何かできないかな～と考えたことがきっかけだそうです。



ハンドメイドの雑貨も見てね



ダンスステージもあるよ!



キッチンカー登場



主催 新千里北町地域自治協議会
後援 吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議・新千里北町2丁目自治会

まちづくり人リレー



このコーナーは、自身の暮らすまちをより良くしたいと奮闘されている豊中のまちづくり人を紹介する連載です。



新千里北町地域自治協議会子育てサークル部会部会長
なかにし ゆみこ
中西 由美子さん

中西さんは新千里北町地域自治協議会子育てサークル部会の部会長をされていて、地域の「北町つつじマルシェ」の主宰者をされています。

← 上段左から、北町つつじマルシェ中心メンバーの齋藤さん、高年禮さん、
一列目左から中西さん、野田さん



Q 北町つつじマルシェについて、教えてください。

A 仲良しのお友達に声をかけたところ、北町で楽しいことをやろう!と盛り上がり「あっ」というまに実施に繋がりました。2021年11月に1回目を開催。つつじ公園(新千里北町2丁目)で年に2回、地域のマルシェを開催しています。

Q どのような関係の人が、参加されていますか？

A マルシェの中心的な世話人の4人は私のママ友です。こどもの年齢はバラバラですが、気の合う仲間、夜に誰かの家で集まったりしています。だいたい9割違う話で、マルシェの話は1割であることが多いです笑。そして、北町は素晴らしい人材の宝箱やあ～です。イベント企画、チラシのデザイン、カメラマン、プロ顔負けのクリエイター、音響、職人など、「得意」が突出している人がたくさんいて、みなセンス抜群です。そんな人たちが世話人の4人からつながって地域の活動に参加、自分の得意を發揮してマルシェができあがっています。それと、一切、北町以外に宣伝していません。だけど、いつも来場者はいっぱいです。不思議。

Q 活動を始められてから、どのような反響がありましたか？

A コロナで活動の場を無くしていた人が多かったのも、とても喜んでもらえました。親子フリマや駄菓子屋さんのお手伝いで、子どもたちが商売を経験する貴重な場にもなっていて、地域のこどもたちの楽しみにもなっていると聞いています。



Q 継続の秘訣は？

A 自分たちが楽しむことです。目指す雰囲気は共有しておいて、それぞれ得意なことを分担しているので無理はしていません。あとはご縁を大切にしています。友達の友達とか、メンバーの親戚などで、マルシェに出店したいと言ってくださる方をお誘いしているの、北町にこんな人がいたのか!と毎回新たな人材発掘があったりして楽しいです。

Q これからの活動の展望や、今後に向けた思いをお聞かせください。

A 活動を広げようという気持ちはありません。まずは実行委員がみんな楽しくやってくれたらいいなということ、マルシェに関わる人がそれぞれ楽しく参加してくれたらいいな。それだけです。それが毎回できるといいなと思っています。

Q まちづくり活動(市民活動)に興味を持っているひとへひとこと。

A 遠くでなく、自分の住む半径500m以内のエリアが楽しくなるように意識すると色々できることに気づくと思います。あとは得意な人にお任せすること、その分自分ができることは全力でやりきること、あとは無理しないこと。ゆるーく楽しい活動を続けていきましょう。



第35回 まちづくりセミナー 「泉北ラボのヒミツ」～つなぐ、つながる～



泉北ラボは、まちな家室をコンセプトに、ヒト・モノ・コト
が出会う「広場的空間」として泉北ニュータウンに開設されま
した。カフェ&レンタルスペース、ランドリー、寄付で運営され
る地域の公共冷蔵庫（コミュニティフリッジ）などの機能があ
り、地域住民のための私設公民館として、各種の事業を行って
います。設立の過程や運営手法、地域課題への取り組み方など
を「特定非営利活動法人 SEIN」SEIN コミュニティ Labo 所長、
「公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団」代表理事の
宝楽陸寛さんに語っていただきます。

ほうらくみちひろ

宝楽陸寛さん

特定非営利活動法人 SEIN SEIN コミュニティ Labo 所長
公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団 代表理事



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030



豊中市

事前申込が必要です
申込はこちらから
(豊中市サイト)



【マチカネポイント付与対象事業】
詳しくは市ホームページで

【主催者】豊中市

【問合せ先】豊中市 都市計画推進部 都市計画課 地区まちづくり係

電話番号：06-6858-2197 メールアドレス：machi@city.toyonaka.osaka.jp

8月24日(木)
19:00から
WEB開催
(事前申込み制)

Zoomを使って参加ができない方は、都市計画課
(問合せ先)までご連絡ください。

下記場所にて同時上映にご参加いただけます。

(人数制限あり。事前申込必須)

市民公益活動支援センター(庄内コラボセンター内
庄内幸町4-29-1)

阪急庄内駅から南西に徒歩約10分